

三重県中国ビジネスサポートデスク現地レポート

平成 27 年 4 月 24 日

上海デスク（上海納克名南企業管理諮詢有限公司）

中国人は、本当は「やれば出来る」のか？

中国人の能力と責任に関する考察から、日本企業が中国ビジネスにてどの様に振舞うべきか迄を、大きく考えてみました。

「知識がない」から出来ないだけで「指導があれば」出来る？

以前、中国の某理系大学院の修士課程に留学している日本人の知人から、「中国人の学生は大学院生であっても授業でのディスカッションの際、思考の応用性や柔軟性に欠け、正直あまり面白くない」と聞かされたことがあります。

彼曰く、中国の高校の授業とは基本的に入試を突破するための暗記型詰め込み教育であり、その結果として大学に入学した学生は教えられたことに対する記憶力はもの凄く優秀だが、一方で特に理系の修士課程のように研究や発見というブレイクスルーが非常に脆弱だとのこと。ディスカッションの場でも平然と「教授から教えられていない」と言うのに彼はとても驚いたそうです。

「資料の伝達がない」から「処理しない」だけで責任はない

話は代わりますが、やはり以前に、顧客企業の中国現地法人の税務会計業務を中国ローカルの会計事務所（代理記帳業者）から弊社が引き継ぐことになり、弊社も交え引継ぎ打合せを行ったのですが、その際、前年度の会計年度監査報告書の BS 残高の多くが不正確であることが発覚しました。

具体的一例としては、年度末の銀行残高でさえ帳簿と実地に大きな乖離があり、筆者がヒヤリングした結果、信じられないことですが、毎月のバンクステートメントを顧客から入手していないことが分かりました。筆者がその事をローカル会計事務所の担当マネージャーに指摘したところ、彼は「顧客から渡された資料を元に記帳を代行しているので、それはバンクステートメントを渡していない顧客側の問題であり、会計事務所には責任は一切ない」と声をまくし立てて主張しました。

職業会計人としては驚くべき返答ですが、中国ではまだまだローカル企業ほど時として職業的倫理観やモラルよりも、メンツや自己責任を重視していることを改めて認識させられました一件でした。

日本企業の製品やサービスが求められる理由

日本企業の製品やサービスには創意工夫の他、誠実さやホスピタリティも求められ、

かつ評価されていると筆者は考えています。中国ローカル企業の製品やサービスは、上記の様に何かの模倣的製品であったり、また何か問題があった場合に最終的に供給者が責任を取らないという面があり、それを中国人自身が身を以って知っているからこそ、中国では例え中国製であっても日本企業の製品やサービスが求められていて人気が高いのでしょう。